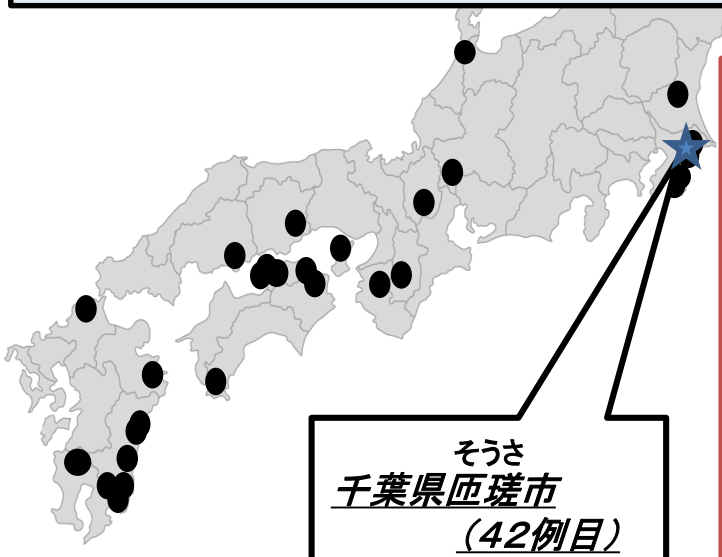


千葉県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの 疑似患畜確認！（国内42例目）

2月4日、千葉県匝瑳市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI H5亜型）の疑似患畜が確認されました。国内42例目、千葉県では今シーズン5例目の発生となります。

引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底、強化をしてください。

愛玩用の家きん飼育者のみなさまにおかれましても、消毒の励行、野鳥・野生動物侵入対策をお願いします。



★42例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 千葉県匝瑳市
- ・飼養状況 採卵鶏 約16.9万羽

【経緯】

- ・2月3日、死亡鶏増加の通報を受け千葉県が立入検査を実施し、簡易検査で陽性を確認。
- ・2月4日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。
- ・疫学的関連が確認された千葉県旭市の1農場（採卵鶏 約7,500羽飼養）についても、防疫指針に基づき、疑似患畜と確認

今シーズンのウイルスは、感染してから死亡するまでの期間が長い傾向があるため、鶏の症状に注意を払う必要があります。

発生農場の疫学調査報告によると、はじめは寒冷や他の疾病による通常の死亡と思っていたら、急に死亡が増えたり、鶏舎内の一部に死亡が集中し始めた…といったケースも見られます。

いつもと違うと思ったら、家畜保健衛生所に連絡してください。

特に次の症状に要注意！

- 突然死や元気消失、死亡羽数の増加
- とさかの変色、チアノーゼ（青黒っぽくなる）
- 鶏の顔が腫れる
- 産卵率の低下

さらに詳しくは農林水産省HP…

[令和2年 鳥インフルエンザ](#)

